

新たな観光振興基本計画 達成目標の設定

1 基本的な達成目標について

(1) 基本的な達成目標として望ましい性格

- 長野県観光のめざす姿に実現に向けて取り組む施策展開の成果を総括的に把握できる指標であること
- 主として県の活動によって実現をめざすアウトプット指標ではなく、県民をはじめとする幅広い主体の活動によって実現をめざすアウトカム指標であること
- 原則、毎年把握できる指標であること

(2) 基本的な達成目標の候補

指標名	5年度前 (平成19年度)	過去5年間の ピーク	現 状 (最新値)	統計名 (調査機関)	調査間隔、 把握時期	全国 比較	現行 計画	指標の特徴
① 観光地利用者数	9,073万人 (平成19年)	9,174万人 (平成21年)	8,435万人 (平成23年)	観光地利用者統計調査 (長野県観光部)	毎年、5月	×	基本 目標	観光地への入込を人の数で 捕捉する一般的な指標
② 観光消費額	3,311億円 (平成19年)	3,349億円 (平成21年)	3,063億円 (平成23年)	観光地利用者統計調査 (長野県観光部)	毎年、5月	×	基本 目標	観光旅行者が県内で消費し た金額を把握する指標
③ 一人1日当たりの 観光消費額	3,649円 (平成19年)	3,708円 (平成20年)	3,632円 (平成23年)	観光地利用者統計調査 (長野県観光部)	毎年、5月	×	—	観光旅行者が県内で消費し た金額を「一人当たり」の平 均額で把握する指標
④ 平均宿泊数	実績値なし	1.33泊※1 (平成23年)	1.33泊 (平成23年)	宿泊旅行統計調査 (観光庁)	毎年、6月	○	—	滞在時間増加に向けた取組 の成果を把握する指標
⑤ 外国人宿泊者数	28万1千人 (平成19年)	30万5千人 (平成22年)	20万3千人 (平成23年)	外国人宿泊者数調査 (長野県観光部)	毎年、8月	×	基本 目標	外国人旅行者誘致の取組の 成果を人の数で把握する指 標
⑥ 県内の観光サービス に対する満足度	38.7% (平成20年度)	47.3% (平成24年度)	47.3% (平成24年度)	県民アンケート調査 (長野県企画部)	毎年、7月	×	基本 目標	平成26年度以降は数値を 把握できないため、代替 指標を検討中
⑦ 観光旅行者の 総合的な満足度	実績値なし	19位※2 (平成21、24年)	22位 (平成23年)	じゃらん宿泊旅行調査 (じゃらんリサーチセンター)	毎年、8月	○	—	おもてなしの推進の成果を 把握する指標

※1 調査が開始された平成20年以降4年間のピークを表示

※2 都道府県別順位の公表が開始された平成20年以降4年間のピークを表示

(3) 主な論点

- 長期的な人口減少が進展する中で、①観光地利用者数を重視するのか、あるいは、②一人当たりの観光消費額を重視するのか。
- 具体的な目標値は、①努力により達成可能なレベルに設定し 毎年度その進捗度を評価することに主眼を置くべきか、あるいは、②挑戦的な高いレベルに設定し その実現に向けて取り組むプロセスを評価することに主眼を置くべきか。

2 その他

- 目標の達成に向けては、県、市町村、観光関連団体、事業者、地域住民などが連携を密にし、全県をあげて取り組むことが必要
- 施策展開にも個別の達成目標を設定し、進捗を把握していくことが必要
- 現状の数値と目標数値との乖離を埋める説明（例えば、現行計画における「もう1泊、もう1コイン…」の説明）の検討が必要
- 達成目標については、社会経済情勢の変化や計画の進捗状況に即して内容の見直しを行うなど、弾力的な対応を考慮に入れることが必要